

2 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念を朝会で復唱する事で共有する意識付けを行っている意見が多く見られました。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響で直接的な交流が少ない意見がありましたが、お便りや書面上での日常の伝達、推進会議等でのやり取りで関わっており緩和してきた事で以前より関わりは出来ている意見がみられました。	これからも、状況を分かりやすく発信できるように環境が変わったとしても伝達できる機会を作っていきたい事を伝え合っています。変化があった時にはすぐに行動できるように日々の様子を確認し合っています。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活状況の報告や意見が挙がった時には職員に周知してもらうよう働きかけており話し合いは行われています。	利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について今後も会議の際にはお伝えし状況報告をしていきます。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村との連携に関しては直接的なやり取りが推進会議で一部の職員のみが関わっている意見がありましたが、前年度の課題として今年度は現場職員も順番に会議に参加予定です。	今年度は介護職員が運営推進会議に順番に参加し、委員の皆様との交流と意見交換を交わしました。これからも現場職員に参加し、委員の皆様との関わりをもっていきたいと思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体としても研修を行ったりもしており、ユニット間でも意見を出し合い取り組みも出来ている評価が多くありました。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウィルスが関係している中で、出来る範囲で職員も行っていると思いました。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や会議での関わりの確認、声の掛けあい、見直しもしており注意は十分払っています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね出来ていると思います。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修を通して学ぶ機会はあるが活用できる場面が少ない意見や内容や確認に関して経験の差もあり意見が不明な物も見られました。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見等はアンケートや直接的に話がある時には説明は行っているが伝え方に関しては職員の経験もありそれぞれの伝え方も見られ難しさを感じる意見もありました。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者主体の会での意見交換や、アンケートでの意見の反映など取り組みは行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見を通して対策など講じて頂き振り返りの機会も検討して頂けるとよりよいと思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット会議などで職員の意見を拾う事がされており、委員会でのアンケートでも職員の気持ちを配慮したものが見られる意見が多くありました。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課等で自信を振り返り話し合う事が出来てはいるが、全てが反映されるものでもなく、難しさもある点があげられています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分たちには分かりにくい所まで今回は日常の様子の書類や流れを説明して頂き外部が伝わりやすい説明がありました。伝えることは出来ていると思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議での意見交換や研修を通してのケア向上の場面がある事に関して振り返りは行っているが、経験の差もみられ意見にも差が見られました。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ねできているのではないかと思います
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他法人との研修の機会、階層別研修を通しての法人内の職員との意見交換など取り組む機会がありますが、参加する職員も年数や経験の事もあり理解の差もあるようです。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見を伺う機会や場面はあるが時間や実践する事の難しさがあり課題が見られる事が多く上がっています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みのある場所への支援などには努めたいと思っているがコロナの影響、人員の状況からすぐに対応する事が難しいという意見もありました。	これからも状況に合わせて関係が途切れないうち支援をしていくことを考えていきたいと思っています。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々意向を聞きながら対応し、その方にあつた日常の活動時間に合わせて対応するよう努めています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントや今後の対応は話し合っており、情報を集めながら出来る事を話し合うようにしています。	これからも日常の様子、会話など気持ちに寄り添いながら、ご家族とも話し合いの場を持ちながら、充実した介護計画を作成できるよう努めようと思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の写真風景をみると、ご利用者が出来る事を伝え、最大限にやっけて頂けると感じました。これからも出来る範囲で対応して頂ける事を願います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録や状態の変化など情報を共有し活かしているという意見が多く見られました。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年々医療や介護が必要な人が増えると思われる。職員で少しの変化にも対応して頂けることを願います。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時、その都度カンファレンスやニーズに対しての対応、専門職との連携を踏まえて取り組んでいます。	その時々生まれるニーズに対応して的確に対応できるように他職種とも連携しながら取り組んでいきたいと思っています。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事事はコロナ過もあり出来てない所がありますが、畑作業などの日常での交流がみられ、力を発揮する場面がもっとあればという意見も見られました。	日常でのやりがいを通しながら出来る範囲での取り組みを行っていききたいと思います。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の気持ちの配慮と看護との連携が取れておりかかりつけ医との連絡もスムーズに出来ている意見が多く見られました。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関との情報の交換、不安がない様に入退院の対応など担当看護が入ったことで、情報交換、相談ができやすくなったという意見が見られました。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療や介護が必要な人が増えると思われる。個人記録を充実し、職員で共有し少しの変化にも対応して頂けることを願います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている	主治医、看護への早い段階での相談や対応はしている意見と終末期、看取りケ		A. 十分にできている B. ほぼできている	医療や介護が必要な人が増えると思われる。少しの変化にも対応して頂けることを願います

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アの知識がもっと必要であるという意見が見られました。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修やマニュアルを確認する機会が会議などでもある為身につけられる機会があり、新しい知識をより学ぶ事の努力に関して意見があります。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間を通して訓練が行われており、職員の経験問わずに実施できている事が多く挙げられています。	日々何があってもいい様に緊急時の必要な物品、対応、行動を確認し周囲の環境の確認にも努めたいと思っています。また、緊急時に備えた訓練も身になるよう何度も行い周知していきます。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実際に訓練にも参加させて頂き現場の大変さを理解しました。今後は自治体との連携も視野にいれて頂きながら考えて頂きたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉使いを意識し分かりやすい様に伝える力をもっと身につけねばという意見もありました。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格をこれからも尊重し、最低限日々の暮らしが少しでも楽しく穏やかに生活できるよう支援をお願いします
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に添える様にその都度気持ちを伺い職員主体にならないように努めているという事と業務や時間によってできない時の対応の課題もあげられています。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	嗜好調査等を行っており、その時々で体調を考慮し考えながら行っています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の便りの写真から見ても日々考えられていると感じました。職員さんの働きは感謝しています。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養士や看護から体重、BMIなどを見て頂き助言を貰いながら支援しています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に歯科医に往診して頂いたり、個々にあったケアをするように努めています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ねできていると思います

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄のパターンを計測したり、その方にあつた食事、水分量など統計を取りながら対応しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	どこまで関わるべきなのか難しい点とは思いますが、個々に対して何が必要か把握や見守りを行って下さい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそつた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に添える様に対応していますが、時間帯では職員の勤務状況、人員によりできない事もある意見がありました。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態把握に努め声掛けなど支援に努めているが安心感に繋がっているかは不明な所があるという意見もありました。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬している内容を薬ケースやファイルに見やすい様にしているが、全員の把握はまだ出来ていないという意見がありました。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護職員が医療面も把握するのは難しいと思います。しかし、把握できる環境はできていると感じました。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に上げられているプランを活用しながら機能を生かしたやりがいある事を日々見つけていく努力を行っています。	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごとをプランを生かした支援を行っていきたいと思います。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や自宅周辺の外出など機会を作り家族にも協力して頂き支援していますが、感染症の状況にもより、出来ない時もある意見もありました。	本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援して行きたいと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人で利用できる金庫もあり、本人、ご家族と相談し管理についてもその都度対応させて頂いています。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍ではリモートも活用しながらやり取りできるように支援しています。電話等も職員が間に入り言葉を伝える機会もあります。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	環境作りに関しては目線の先、高さ等調整を行いながら安全に過ごせられるよう専門職員にもアドバイスを貰いながら支援しています。四季を感じられる工夫、馴染みの物をもっと配置できるのではないかという意見もあります。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練時に施設内を拝見させていただきましたが、アットホームな温かい空間だと思いました。これからも過ごしやすい環境を考えて頂きたいと思います。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉に出来ない方もいる中で思いを汲む事の難しさもありますが、その都度意向を確認しています。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴やアセスメントを通して情報を共有しているがまだ知らない事もあると思われるのでご家族からの協力やご本人を知る事が必要という意見があります。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタル測定や体調の変化には看護に連絡し早めの対応を行っています。看護も週二回は来てくださっているため、健康面での把握がよりできるようになったとの意見が見られます。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	便りの様子を見させて頂き個々の支援に合わせた対応が出来ていると感じました。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの物を取り入れ環境も過ごしやすい様に見慣れたものがあるよう支援し、本来のリズムを崩さないように努めています。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大切にしていたもの等ご家族の協力ですべて見られる所へ置き安心して空間作りをしている意見が多くありました。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充実できるよう更なる努力をお願いします
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば意向に添えるよう努めています。また、行事事にも機会があれば参加して頂く支援を行っています。	希望に添えるよう、これからも意向に配慮し日々の生活が充実したものになるように支援して行きたいと思っています		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活で出来る事を探しながら一緒に役割を持って出来る事を支援しているが、外出を含め楽しいと思えるような支援をより考えていきたいという意見もありました。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴の話題を上げたり、楽しく会話できるような時間等を意識して行っている意見が多く見られました。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人は役に立てていると思うと喜びにつながるので、個々の支援に合わせた取り組みをこれからもお願いしたいと思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の方と交流できるよう情報を伝えたりしているが、直接的な交流の機会がコロナ禍で減っておりできる範囲で行っています。	出きる範囲での環境の中でも、近隣の行事に参加できる機会には交流していきたいと思っています。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人にとって居場所がここだと思って頂けるような支援、家族とのつながりを持っていきたいという意見が多くありました。	よりよい日々をおくることのできる支援をこれからも出来るよう、ご家族とも繋がりを大切に、努めていきたいと思っています。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の様子は会議でしかなかなか分からない事になってきているので、現場職員の評価を参考にしながらですが、これからも職員の方には過ごしやすい環境を作って頂きたいと思っています。